

熊本大学拠点形成研究「心の可塑性研究ユニット」

人文社会科学系国際共同研究拠点「心理学による活力ある超高齢社会の創出」領域 共催

認知心理学特別講義

長寿社会における 個人と社会の課題

人生90年といわれる時代を迎える日本。

2030年には高齢者が人口の3分の1となると予測されています。

90年の人生をいかに設計し、どう生きるのかという個人の課題と、社会インフラの見直しという社会レベルの課題についてご講演いただきます。

コーディネーター 文学部教授 積山 薫



講演者

秋山 弘子 特任教授

東京大学 高齢社会総合研究機構

イリノイ大学でPh.D(心理学)取得、米国の国立老化研究機構(National Institute on Aging)フェロー、ミシガン大学社会科学総合研究所研究教授、東京大学大学院人文社会系研究科教授(社会心理学)などを経て、2006年東京大学高齢社会総合研究機構特任教授。日本学術会議会員なども歴任。

専門はジェロントロジー(老年学)。高齢者の心身の健康や経済、人間関係の加齢に伴う変化を20年にわたる全国高齢者調査で追跡研究されています。近年は超高齢社会のニーズに対応するまちづくりにも取り組むなど超高齢社会におけるよりよい生のあり方を追求されています。

申込み・問合せ

事前申込みを受け付けます。

7月3日(金)までにお名前と所属を下記までお知らせください。

熊本大学 大学院先導機構

国際共同研究拠点 人文社会科学系担当

TEL 096-342-2480

E-mail: k-kyoten@jimu.kumamoto-u.ac.jp

日時： 2015年7月8日水曜日

9時～11時50分

会場： 熊本大学 黒髪北キャンパス

くすの木会館レセプションルーム

(熊本市中央区黒髪2-40-1)